



2018・3・21

第 300 号

101-0065 東京都千代田区

西神田 2-5-7 神田中央ビル 303

TEL 03-3221-5075

FAX 03-3221-5076

3000万署名達成に向けて4・7を決起の場に

森友文書改ざん追及と結合し

森友問題の文書改ざん発覚によって安倍首相の足下は大きく揺らいでいます。これによって自民党の9条改憲案の一本化が先送りになるなど、自民党の9条改憲に向けた日程が遅れていることは否定できません。しかし、安倍首相は改憲の野望を断念したわけでは決してなく、森本問題の風波が弱まるのをまって9条改憲発議に向けて一気に動きを強めることはまちがいありません。

その企てをやめさせ、安倍首相を退陣に追い込む決め手は、森友文書改ざんへの批判とむすびつけ、安倍9条NO！3000万署名をやりきることです。

4月7日に開かれる「九条の会集会」はまさにそうした運動の盛り上げに向けた決起の場です。多数のご参加をお待ちしています(なお、集会参加は事前予約が必要です)。

森友究明と結び緊急の共同行動

【青森県／県九条の会など11団体】青森県九条の会、憲法ネット青森、青森ペンクラブ、共産党、社民党など11団体が主催する「森友文書改ざん問題の徹底究明と安

安倍9条改憲NO！

3000万署名達成へ

——九条の会集会

◇日時 4月7日(土) 14時00分

◇会場 東京都北区 北とびあ

◇内容

*事務局報告 事務局長・小森陽一

*呼びかけ人・世話人からの訴え

澤地久枝／愛敬浩二／朝倉むつ子／

池内了／池田香代子／伊藤千尋／

清水雅彦／山内敏弘

*各地から署名の取り組み報告

◇参加費 無料(要事前申し込み)

倍内閣退陣を求める」緊急集会とパレードが16日昼、青森市内で行われました。

小雪がちらつく寒さの中、「ねつ造安倍政権は総辞職」「安倍首相に憲法語る資格なし」など横断幕やのぼり、手書きのポスターを手に、120余人が集結、「市民と野党が力をあわせ安倍政権を必ず倒そう」と声をあげました。

参加した男性(60)は、「やっとここまで安倍政権を追い込んだが、これからだ。気

を抜かずにたたかうために、がんばりたい」と力をこめました。

集会であいさつした県九条の会・金澤茂代表は、「あと少しで安倍政権は崩壊する。安倍昭恵氏ら関係者を証人喚問し、“森友ゲート事件”の終結と安倍政権退陣をこの目で見届けるまで、力を合わせがんばろう」と呼びかけました。

集会後、市内をパレードした参加者の姿を見つめていた男性（60代）は、安倍政権退陣賛成だと述べ、「自民党幹部も安倍首相の責任を口にするようになった。安倍政権はウソが多すぎた」と語りました。

パレードを笑顔で見送っていた女性（48）は、「追及し続けた野党と改ざんを暴いたメディアに拍手。あとひと踏ん張りですね」と述べ、「安倍政権は今すぐ退陣」と参加者のコールをまねし、声をあげました。

3000万目標達成へ決起集会

【福島県／県市民アクション】 安倍9条改憲ノー3000万人署名の福島県目標達成に全力をあげようと、全県決起集会が10日、福島県郡山市で開かれました。

主催者の県市民アクション共同代表の伊藤寛・元三春町長があいさつ。日本平和委員会の川田忠明常任理事が、「9条改憲阻止へ、3000万署名の意義」と題して講演しました。

川田氏は、初の米朝首脳会談が見通されるなど北朝鮮問題の情勢にもふれながら9条に自衛隊を「明記」することがいかに危険かを指摘。「国会発議を許さないために今が勝負どころだ。短距離走のように一気に運動を広げよう」と呼びかけました。

その後、署名運動の経験を交流。会津地方の86歳の男性が全戸訪問し1000人を越える署名を集め、福島市では住職や元自衛官、元自民党幹部ら地域の150人が賛同人となって署名を増やしている活動など、活発な発言が相次ぎました。

閉会あいさつした同アクション共同代表の吉原泰助氏（県九条の会代表）が全県目標達成の訴えをおこないました。

地域の会が学びあいながら

【群馬県／各地域「9条の会」】 群馬県内では1月末から、群馬県民アクション、9条の会前橋連絡会、高崎ネット会議など地域九条の会の連合組織があいついで交流会を開き、3000万人署名など地域における交流を深めました。以下はその会議における報告です。

＜5中地区9条の会＞ いろいろと困難がありましたが、安倍改憲の動向を受け止め事務局会議をもちました。地域の有権者は7000人、9条の会は3月末までに500人をめざそうと70人の会員に訴えをだしました。1月20日現在、380筆に達しています。

＜群馬計理9条の会＞ 会員にニュースと署名用紙、市民アクションの資料、返信用封筒を入れ郵送しましたが返送が少なかったため回答のない会員宅を訪問し署名をお願いするよう援助した結果、現在850筆となりました。役員は事務所の周りを各戸訪問して頑張っています。

＜かいがや9条の会＞ 学習は小澤隆一論文、目標は前回6割増しの800筆です。

4つの作戦計画をたてています。①会員・読者に依頼（訴えと署名用紙2枚を11月に依頼） ②結びつきを生かした署名活動 ③自宅周辺作戦 ④10年目に入った9条署名活動のテンポをあげる です。1月26日段階 475筆

＜4中地区9条の会＞ 自宅周辺から戸別訪問をしています。訪問先では「来てくれてありがとう」「孫が自衛隊、海外派遣はこまる」等だされます。憲法前文など資料をつくり、署名時に配布しています。一人で1000人をめざし頑張るつもりで現在、402筆までできました。

（以上「かいがや9条の会だより」NO129）

＜高崎六郷9条の会＞ 1月19日に4人で署名行動、平日昼で留守が多い。高崎経済大前スタンディングは5人。2月6日にニュースNO26を発行。物品販売で6万余の売上があり、カンパも1万以上あったので財政的に一息ついた。2月9日9の日行動スタンディングに8人参加、署名5筆。3000万署名を会員以外にどう広げるか、署名用紙、宣伝チラシ、返信用封筒の3点セット2000部全戸配布を予定。署名は現時点で413筆。

＜城東・塚沢9条の会＞ 1月29日に高崎駅東口で「憲法9条変える？変えない？」のシール投票、7人参加。改憲賛成7票、反対45票、賛成派も含めて対話ができた。

2月9日に3000万署名戸訪問行動に9人参加、2ブロック4班で46筆。平日昼で女性が多く、安倍批判が強い。1班を除いて3班で9割が署名。

2月14日に城東公民館でお菓子つき憲法

カフェ25人、憲法の歌など歌いながら和やかに。当面3月10日第2回憲法法シール投票、東口午後2時、応援を。

＜群馬町9条の会＞ 1月28日（日）に8人でイオン前スタンディング。2月9日は100回目のスタンディングで12人の参加。2月18日には「青空マルシェ」の会場で署名行動の予定。2月25日には通常のスタンディングの時間を短縮して「群馬5区の会」主催の国民投票法の学習会（富岡）に参加の予定。

＜中川9条の会＞ 9人でスタンディング。通常8時半からだ寒いので今後は時間を変え、9時から役員会を開きそのあとスーパーの前で行う予定。現在238筆。

＜片岡地区＞ 宮内さん、町内を中心に個人的に署名活動。90歳超の方に出会い戦争体験を聞いた。3回出撃命令を受けたがいずれも船がなく生き延びた。弟は志願して戦死したとの話。

（以上は特定秘密保護法廃止を求める高崎市民の会「あきらめない」第51号）

＜駒形・木瀬9条の会＞ 発足10周年を迎え、2017年12月2日に「10周年の集い」を行った。「集い」では「市民の『自由』を手放さないために」と題して吉野晶弁護士が講演、アトラクションでは動く紙芝居「徳ちゃんとお父さんの梨」が上演された。署名にも取り組んでいる。

＜南橋地区9条の会＞ 目標は5月までに3000筆とし現在600筆。会員1200人まで至っていません。2人組で地域を訪問していますが、ルスが多いので留守宅用「署名の訴え」をつくりポストにいています。

方針は、①会員及び地域の方々を、2人一組で訪問して署名をお願いする ②他の団体と協力して訪問及び街頭活動で署名を集める ③世論作りのため、対話を重視して取り組む ことを決めた。「署名協力をお願い」を配布。

2月17日に、憲法学習会を行った。テーマは「日米安保条約と日米地位協定」(以上は「前橋・大利根地区九条の会ニュース」184号)

広範な各界で憲法フォーラム

【青森県／青森憲法フォーラム】 安倍改憲の国会発議をなんとしても阻止しようと、「青森憲法フォーラム」が4日、青森市で開かれ、「安倍改憲NO！全国3000万人署名青森県民の会」が結成されました。

運動を推進する幅広い市民・民主団体、政党、地域九条の会から108人が参加。署名目標を30万人に設定し、団結して奮闘することを確認しました。

フォーラムは青森県九条の会の共同代表の金澤茂弁護士が基調報告。街頭宣伝や地域に入り、住民と組びつき、署名を広げる各地域の活動報告に学び合い、交流を深めました。

共産党の斉藤美緒書記長、社民党の三上武志県連代表が発言しました。

斎藤氏は、地域署名や高校前行動など各地区の意気高い取り組みを紹介し、国会発議をさせない多数派をつくるため、全力を尽くしますと決意を表明しました。

三上氏は、選挙だけでなく普段から野党が連携・協力し高めあう行動が大事だと強調。力をあわせ3000万人署名の成功をめざ

しましょうと語りました。

民進党の田名部匡代参院議員、田名部定男民進県連代表からの連帯メッセージが紹介されました。

各戸訪問でも森友文書改ざんに怒り

【宮城県宮崎市／大淀九条の会】 大淀九条の会は14日、大淀地区を全戸訪問し3000万人署名への協力を訴えました。

参加者は「安倍首相が9条を変えようとしているんです。憲法を変えてほしくなくて署名をお願いしています」と呼びかけました。17日に地域の公民館で藤原宏志宮崎大学元学長が「安倍政権が9条改憲にこだわる理由」と題し講演する大淀九条の会の定例会への参加も呼びかけました。

「政治は変わらん。諦めちよる」という女性にも「諦めたらダメですよ」と話し署名してもらいました。

すぐに署名用紙を手に取り署名した女性は「他の勧誘とかは断っているけど、(公文書改ざんなど)安倍首相にムカついているからこれだけは署名する。あの問題は誰が見てもおかしい」と語りました。

駅頭で安倍暴走にはずむ対話

【長野県／信州市民アクション】 信州市民アクションが4日、長野駅前で3000万人署名の宣伝をしました。短い準備期間でしたが40人が参加。「安倍9条改憲NO！3000万人署名」への協力を訴え、約120人の署名が集まりました。

信州市民アクション共同代表の茅野実さん、同じく共同代表の新海寛さん、政党を代表して共産党から阿部孝二長野市議、社

民党から布目裕喜雄長野市議がスピーチ。茅野氏は「子ども、孫の代まで戦争をやらない、戦争に協力しないというお覚悟を署名に表してください」と。新海氏は「安倍首相の憲法改悪を阻止しなければ、日本が戦争に巻き込まれ、皆さんが殺し合いに巻き込まれる危険があります。ぜひ署名にご協力を」と訴えました。

署名した女性は「安倍さんは今までの中で一番危険だと思う。怖いわ」と語り、別の高齢者は「この空にもB29が飛んだ」などと戦争体験を語り、署名に応じました。「『署名して』って言っているよ」と2人で足を止めた若い女性は「安部改憲って書いてあるから」と署名に応じ、高校生も「憲法9条大事だと思う」と署名に応じました。

【徳島県／九条の会徳島】 九条の会徳島は9日朝、徳島市でスタンディング宣伝し、安倍9条改憲反対をアピールしました。

徳島駅前元町交差点4ヵ所に立ち、横断幕や「I ラブ憲法」「守ろう憲法」のプラカードを掲げました。

上池大三郎事務局長は「韓国と北朝鮮が会談し、戦争回避で努力しているなか、日本政府だけが対話を否定し、好戦的で怖い。安倍9条改憲でどんな事態になるか自分たちの問題として考えてもらえるように訴え、署名を広めたい」と語りました。

わたしの署名行動

ニュース読者など皆さんの体験

一川崎市生田区／生田9条の会

<Y・Fさん(栗谷在住)> 「安倍さんって大変口がうまいでしょ。黙っていたら『戦

争をする国』に変えられてしまいそう。戦後70年以上日本は『戦争をしない国』と世界中に信頼されてきたのに…。

9条はこのまま変えずに行くことがとても大切だと思うの。

駅で署名を求めるといえるのはできないけど、友達に話して署名をしてもらうことはできることなので…。いろんな立場の人いるけど、みんなほとんどが賛成で、快く署名してくれたわ。皆さん頑張ってください。」

(読者へのお願いに応じて隣人・友人・知人から20筆の署名を頂いた方)

<T・Sさん(南生田在住)> 「70年以上も戦争のない国として過ごしてきたのは、憲法のお陰と思います。絶対にこの宝を変形させてはいけないと切に願っています。

9条の会に賛同しニュースを読ませて頂いています。活動に参加出来るのは、講演会に参加したり、署名を集めること位です。幸い私の友人・知人はほとんど9条を大切に思う方たちです。戦争の好きな人は居りません。個人意思表示ができる数少ない場でもあろうかと思い参加させて頂いています。」(67号の署名のよびかけに応じて、友人・知人・近所の方から30筆の署名を頂いた方。過去の生田9条の会ニュースを全て保存されています)

<Y・Gさん(南生田在住)> 「私ができることをただけですから…」(生田9条の会オリジナルリーフ300部を配布し、署名を20筆集められた方。多くを語られない姿に、ただ敬服)

以上のお三方を含めて17人のニュース読者が、2月12日現在、271筆の署名を集めておられます。(ニュース係—「生田9条の

会ニュース」第 68 号)

団体、市議員などにも賛同を広げ 署名目標 1 万筆の 3 割を超える —魚沼 9 条の会 大平 荘—

2 月 3 日に「3000 万人署名を進める魚沼の会」を結成、それから 1 ヶ月です。まだ、個人的なつながりや近所で署名を進めている状況です。2 月末で魚沼市全体で 2733 筆、魚沼 9 条の会は 700 筆です。まだ参加団体の集約がされていないところ、5 名分が埋まっていなくて手元に残されている署名用紙もあり、現時点で 3000 筆は超えているかと思えます。

魚沼市全体で 1 万筆を目標にしています。一人で集めた最高の署名数が 249 筆、(2 月末) それに次ぐ人が何人も出つつあります。自分の地域の署名が終わった人から他の地域へと署名を進めることにしています。本格的な地域ローラー作戦は 3 月の後半からかと思われます。

全市議会議員や宗数団体を事務局で手分けして訪問し、協力をお願いしました。魚沼市長とも懇談しました。

3 月 11 日「呼びかけ人と事務局の意見交換会」、4 月 8 日上越の馬場弁護士を講師に「学習講演会と後半決起集会」を計画し、運動参加者の輪を広げます。

(「新潟県 9 条の会」N o 71)

新しい絆に感激しながら 3000 万署名に思うこと

厚木市依知憲法 9 条の会 菅野 明雄

昨年秋に「3000 万署名」が提起され、正直「これは大変なこっちゃ」と悶々として

いましたが、年が明けて 1 月 7 日「やるっきゃないか」とようやく重い腰を上げました。

「3000 万署名」をイメージすると、国民の 4 人に 1 人、仮に 1 世帯 4 人として全世帯から 1～2 名の賛同を集めるという遠大な計画になる。それじゃ、これを草の根でやるには相手選ばず近所から各戸訪問に踏み出すしかない。「点から線へ、線から面へ」広げる以外ないと腹を決めました。また、人類破滅の核戦争反対、核禁止条約締結を求める「核廃絶国際署名」も一体のものとして取り組むことにしました。

まずは「向こう三軒両隣」です。日頃顔を合わせる近所の方々の賛同を得てこそなんぼだとの思いで、毎日、時間を見つけては署名活動に歩きました。自治会の同じ班に属する 20 軒ほどのお宅では 8 割近くの署名を頂き、それに励まされ隣の班へ、街区へと計画を広げ、あらかじめ依知 9 条の会作成のカラーチラシを配布し、その後数日かけて署名をお願いするというスタイルです。2 月末に 200 筆を超えました。新しい発見があったり絆が生まれたり、訪問して良かった、楽しかったとの思い、多々ありました。

最近特にうれしかったのは、地元で様々な公職に就かれ地域に貢献された長老、重鎮の方々に快く署名に応じて頂いたことです。

1 時間近くの懇談になったこともあります。「安倍政権は強硬に過ぎる、懲らしめなければダメだ」など大いに共感したり。

今後も引き続いて頑張りたいと思います。

(「あつぎ・九条の会」NO137)